

会議名	第8回新城地域協議会		公開
日時	令和6年1月11日(木) 午後7時00分～午後7時40分	場所	市役所4階 会議室
出席者	(委員) 権田康之、西尾泰昭、矢賀美紀代、鈴木敏章、清水利高、今泉澄夫、佐本達俊、高木猛至、丸山哲也、中川享子、今泉克英、松井利文、後藤國與、鈴木雅晴、白柳明美、大瀧章義、村田博和、沼田宣、今泉栄、畠山恵美子		
	(事務局) 市民自治推進課：杉本参事、宮本主査 新城自治振興事務所：今泉所長、近藤主任		
欠席者	伊藤哲夫、今泉光俊、浅岡勝	傍聴者	なし
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1：新城地域自治区地域協議会に関する運営要綱</p> <p>資料2：新城地域自治区地域活動交付金募集要項 対比表</p> <p>資料3：新城地域自治区 地域活動交付金審査基準 対比表</p> <p>資料4：新城地域自治区地域活動交付金事業 採点票 記載例</p> <p>資料5：審査の取決め事項(案)</p> <p>資料6：新城地域自治区地域活動交付金事業 募集チラシ</p>		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会</p> <p>会議成立の報告及び会議録署名委員の指名(高木猛至委員、丸山哲也委員、中川享子委員)</p> <p>2 報告</p> <p>(1) しんしろまちなか映画祭2024について 新城まちなか映画祭実行委員会の森会長より、映画祭の告知とそのPRの協力依頼がされた。</p> <p>(2) 子育て茶話会について 中川委員より、子育て茶話会の開催状況や今後の開催案内、そのPR協力等について報告された。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 新城地域自治区地域協議会に関する運営要綱について 第6回新城地域協議会にて、次年度の協議会の委員構成について協議され、委員構成自体は変えないが、関係者から説明もしくは意見を聞けるようにすることが決定され、そのことに基づいた運営要綱の見直しについて協議を行った。 修正案(資料1)に対する意見はなく、採決の結果、修正案のとおりとなった。</p> <p>(2) 令和6年度新城地域自治区地域活動交付金募集要項等について</p>

地域活動交付金分科会の鈴木委員長より、令和6年度新城地域自治区地域活動交付金に向けた分科会の検討結果について、資料（資料2～6）を用いて提案がされた。

なお、事務局より活動交付金の募集チラシ（資料6）について、A3サイズでの回覧を行う旨説明を行った。

●募集要項（資料2）について、門戸を広げ、地域におけるまちづくりの活動がより一層、活性化して行くようにとの主旨で、以下の内容が提案された。

- ・申請団体の代表者の年齢を20歳から18歳へと引き下げること。それに伴い、学生のみでの申請も可となること。
- ・交付金の上限を50万円から100万円に引き上げること。

●審査基準（資料3）について、申請団体及び協議会委員の負担軽減、審査基準（採点）を明瞭にする主旨で、以下の内容が提案された。

- ・審査時の事業説明について、金額に関係なく協議会における判断により、省略することができることとする。
- ・審査項目について、類似した項目及び項目自体の見直しを行い、10項目から9項目へと整理すること。それに伴い、採択における判断基準となる平均得点も30点から27点へと変更されること。

提案に対する意見はなかったため、それぞれの提案について採決をとり、分科会の提案が採用されることとなった。

4 その他

(1) 令和6年度への引き継ぎ事項について

事務局より、令和6年度の協議会に引き継ぐ事項として、地域活動交付金分科会においては既に行っており、今後、地域自治区予算分科会と地域計画分科会においても調整を取っていく旨。地域協議会としても引き継ぎ事項の聞き取りを行い、次回の協議会において、全体の引き継ぎ事項について協議いただくことの説明を行った。

その後、意見徴収を行った。

以下、意見を記載する。

- ・地域活動交付金事業について、各団体が活動を始めるなどのスタートアップを資金的支援するものだと思っている。継続的に申請をいただいている事業については、地域にとって継続的に必要なものであるのであれば、公共事業として提案していくなど、検討をするべきではないかと考えるが、各委員のお考えを聞きたい。

⇒次回の協議会までに各々考えておくこととなった。

(2) 今後のスケジュール

次第に記載のとおり連絡を行った。

(その他)

事務局より、2点の案内と1点の依頼を行った。

○案内

- ・「空き家にあかりを！」セミナーの開催案内：新城設楽振興事務所主催
- ・地域公共交通意見交換会の開催案内：市公共交通対策課主催

○依頼

- ・新城地域協議会委員選出報告書の提出について

※区長を対象とした依頼

<質問>

- ・書式には、新城市から給与を受けているかを記載する項目があるが、いつ時点の内容で判断をすれば良いか。

⇒令和5年度時点です。